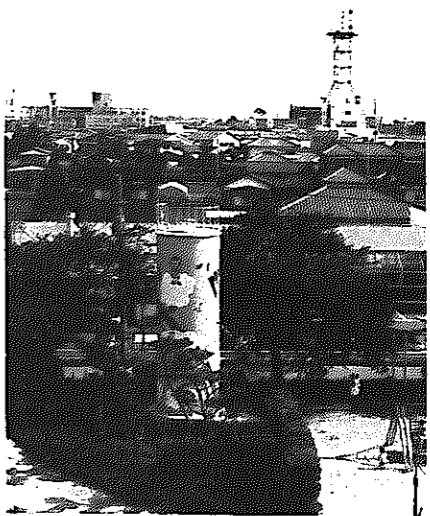


公園のオアシスは 頼もしいやつ

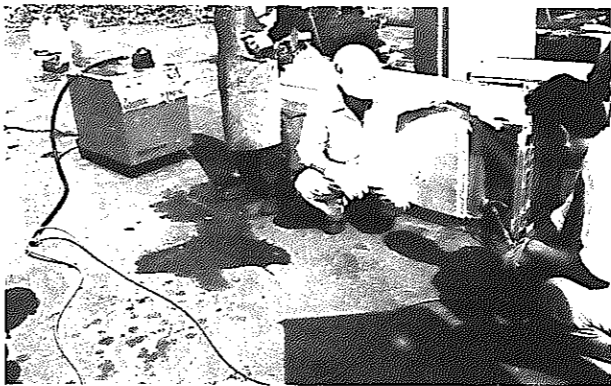
耐震貯水槽設置



七月、白根市は「災害に強い安全なまちづくり」の一環として、市役所南側の白根公園内に高さ約八メートル、直径二・六メートルの円筒形の耐震貯水槽を設置しました。この耐震貯水槽は震度六にも耐えられる構造となっていて、緊急時の飲料水として四十トン(約五千人分)を、常時貯水しています。また消火用水としても利用可能という頼もしいものです。外観は白根小学校の五年生がかいた絵が原画となってデザインされており、虹と青空に風を揚げる元気な白根っ子の姿が公園にびったり。夏の日差しを周りの樹木たちが優しく遮ります。

フロンガス回収装置が登場

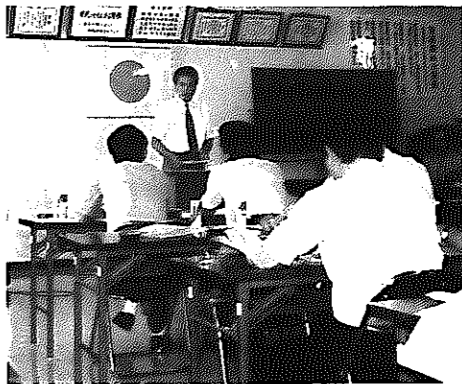
県廃家電協議会が衛生センターへ寄付



写真の機械は、廃棄処分された冷蔵庫のフロンガスを抜き取るもの。県廃家電協議会(阿部一郎会長)が、七月二十三日、白根衛生センター組合に寄贈しました。「オゾン層破壊は地球規模の問題。フロン対策の一助となれば」と阿部会長。同協議会では、今年度中、県内十三の自治体に寄付を予定しています。衛生センター組合副管理者の阿部助役は、「私たちがちようど機械購入を予算化し、取り組もうとした矢先でした。大いに有効活用させていただきます」とお礼を述べました。この機械は冷蔵庫一台のフロンを二三分で抜き取ります。回収されたガスは県外へ送られ処理されます。

これからのまちづくりを学ぶ

白根市行政出前講座



七月二十五日、白根警察署で行われた白根地区交通安全協会役員会の席上、白根市行政出前講座「これからの都市計画について」が開催されました。行政出前講座は、市民の皆さんからの要請に応じて、市職員が講師となって出向くというものです。今回は都市計画をテーマに、これからの白根市のまちづくり計画などを学びました。参加者からは「市の公園計画、道路計画なども教えてほしい」と、熱心な質問も出されていました。

明るい社会をみんなの手で

社会を明るくする運動市民大会



七月二十七日、市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会がカルチャーセンターで行われました。大会では、青少年の健全育成に貢献した個人や団体を表彰。その後「少年の主張大会」が開かれ、市内五つの中学校の代表十二人が日ごろ考えている意見や提案などを堂々と発表しました。審査の結果、田辺智枝さん(北中)、富田祥子さん(新飯田中)が優秀賞に選ばれ、九月に村松町で行われる三市中蒲原地区大会に出場します。

おいしい! 手作りアイス

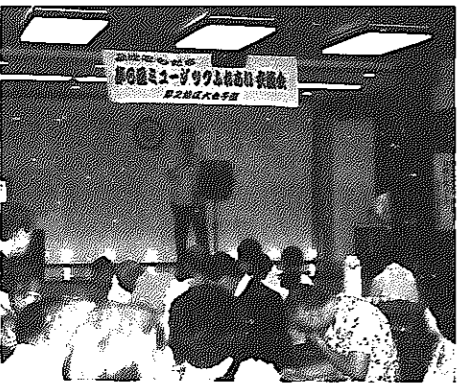
根岸地区公民館「液体窒素でアイスクリームを作ろう」



七月二十九日、根岸地区公民館主催の教室「液体窒素でアイスクリームを作ろう」が同公民館で開催され、小学生約四十人がアイスクリーム作り挑戦しました。卵、生クリーム、砂糖だけを使った昔ながらのアイスクリーム作り。一つだけ違うのは冷却方法で、冷蔵庫ではなく、液体窒素を入れて瞬時に凍らせます。ふわふわ漂う冷たい煙に「気持ちいい」、「すごい」と大喜びの子供たち。おいしいアイスを楽しんで、科学の知識もちょっとプラスの教室でした。

歌を通じて交流を深めよう

ミュージックふれあい交流会

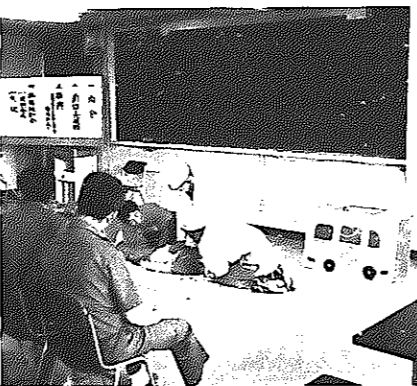


歌を通じて障害を持つ人、持たない人の交流を深めようと、県身体障害者団体連合会が主催する「ミュージックふれあい交流会」の三市二郡地区予選会が七月二十日、市老人福祉センター「白寿荘」でありました。三十一名の出場者のさわやかな歌声と、詰め掛けた応援団の心温まる声援合戦で、会場は終始なごやかな雰囲気。北陸地方の梅雨明けを十分感じさせてくれました。審査の結果、白根市の齊藤勇さんら五人が、九月二十九日の県大会へ出場します。



常に向上心を持って…

応急手当指導法検討会



身近な情報をお寄せください

白根市役所 企画財政課 広報広聴係 ☎373・2111

七月十一日、白根地区消防本部主催の「応急手当指導要領検討会」が青年教育センターで開催されました。これは市民を対象としたものではなく、日ごろ応急手当講習会などで指導を務める消防職員たちが、より効果的な指導方法を検討し合うことを目的に開かれたものです。「専門用語を使用しない指導法」「身の回りにあるものを使った指導法」「寸劇を用いた指導法」などの課題に取り組んだグループ発表の後、批評を含めた検討会が行われ、白熱した意見交換がなされました。あえて指導者同士の指導技術と意見をぶつけ合わせるという彼らの真しな態度、これが白根地区の救命体制を支えているのです。

ジャズの魅力を たっぷりと

横山静子ジャズカルテット演奏会



七月六日、しろね大ホール歴史の館で「横山静子ジャズカルテット演奏会」が開かれ、市内外から約二百五十人が訪れました。横山さんは、元デュークエリントン楽団のピアニスト。ニューヨーク在住で、さまざまなトリオやカルテットで活躍中。大ホールをバックに、ピアノ、ドラムス、ベース、サクソフーンのカルテットが、スタンダードジャズの名曲の数々を演奏。会場からは大きな拍手と掛け声が掛けられました。訪れたジャズ好きの人たちは、体を動かしてリズムを取りながら「まさにこれがジャズ」と満足げ。時間を忘れて演奏に聴き入っていました。